

# 取扱説明書

E470ND E470B906 E470R301 E470B529D E470G730 E470N902D  
E370ND E370B906D E370B529D E370G730D E370N902D

**DAYTONA**<sup>®</sup>

2010/04/12

- \*取付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
- \*この取扱説明書は、いつでも取出して読めるよう大切に保管して下さい。
- \*この商品もしくはこの商品を取付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書を併せてお渡し下さい。

## GIVI E470/370 シリーズ

適応車種

タイプ

キャリア付き車

2ボタン式  
モノロック

この度はデイトナ「Givi汎用モノロックトップケース」を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。また、取付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

**おことわり** 本紙にはE450などのイラストを使用していますが、取り扱い方法は同じです。

ストップランプは別売です。ランプを装着しない場合は配線やベースの打ち抜きなどの作業は不要です。

### <特徴>

- ・樹脂製ハードケース。プッシュボタンにより、取外しが簡単にできます。
- ・上蓋のアンロックボタンとケース取り外しボタンを別々にしました。
- ・別売りのモノロックベース (MM) 商品No.35118/¥6,090 (税込み標準価格)を併用すればモノロック (Fシリーズのみ)にも使用できます。品番35118/¥6,090を併用すればFシリーズモノロックに、M5M (品番60145/¥6,090)を用いてFZシリーズにも使用できます。(詳しくはデイトナ総合カタログをご参照下さい。)

**警告** 「身体や生命に危害を及ぼすと予想される事故の防止」のために必要な事項の表示

- ・各商品の指定積載上限を必ず守って下さい。1ケースあたりの積載上限は3kgです
- ・各車両またはキャリアの積載上限を必ず守って下さい。

タイプ	本体重量	ベースセット込み重量
E470	約3.7kg	約4.3kg
E370	約3.2kg	約3.8kg

- ・オフロード走行をしないで下さい。
- ・公道上に限らず100km/h以下で走行して下さい。
- ・組付け作業には専門知識と技術が必要です。信頼できる販売店にご依頼下さい。以上に抵触した場合は、商品の破損や車体の損傷を招くだけでなく、事故を誘発しお客様が重傷を負ったり死亡する可能性があります。また第三者の財産や生命を損なう恐れがあります。
- ・この商品は、記載されている適応車種以外の車輛には使用しないで下さい。
- ・取付けは確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないように、所定トルクで確実に締付けて下さい。ネジロック剤の併用をお勧めします。M6ボルト、ナットの締め付けトルクは10N・mです。
- ・取付け後、約100km走行しましたら、各部を点検しネジ部等の増締めを行うこと。その後は約500kmごとに必ず同様の作業を行うこと。
- ・走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常箇所を点検して下さい。
- ・この商品を取付けた場合、車輛重量の増加と重心位置の移動のためハンドリングおよびブレーキ性能などが悪化します。
- ・走行前には必ずケースを引っ張ってロックを確認してください。**走行中のケースの脱落や荷物の落下は道路交通法によって運転者が罰せられます。**

**注意** 「デイトナ商品や純正部品、車体の損傷を防止」するための事項の表示

- ・ケースは装着しにくい場合がありますが脱着を繰り返すことでマウントプレートに馴染んでいきます。予めご了承下さい。
- ・ケースのフタを閉める時に荷物を挟んでいないか確認して下さい。破損や変形の可能性があります。
- ・使用状況、または使用環境によりケース内部が高温になる場合があります。
- ・防水性はありません。荷物をポリエチレン袋に入れるなどの対策をお願いします。また、濡れた荷物を入れるとカビなどの原因になります。
- ・組付けは取付け手順に従って下さい。
- ・組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないで下さい。
- ・定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施して下さい。
- ・この商品をつかんでメインスタンド掛けや車体の取回しをしないで下さい。破損や変形の可能性があります。
- ・施錠しても盗難を完全には防止できません。車両を離れるときは、貴重品を入れない、ケースを外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。

### 補修用キーについて

Givi トップケースは、キーシリンダーにナンバーが打刻されている為、防犯上の理由からキーのみの供給はしておりませんので、万一紛失してしまった場合は、カギ専門店等で解錠した上で、下記のキー&ロックセットに交換して下さい。

価格はすべて税込み標準価格です。

\*補修用キー&ロックセット (付属の黒プッシュごと交換してください) 商品No.36394/¥1,260-

製造国 イタリア

製造者 Givi SRL

**<オプション>** 価格はすべて税込み標準価格です。

- 複数のケースをご使用になるお客様にはセイムナンバーキー3本セットをご用意しております。  
(キー、シリンダー、ロックブッシュ、サークリップ付きでGiviの全ケースに対応・付属の黒ブッシュごと交換してください。)
- \* セイムナンバーキー3本セット 商品No.35293/¥3,570-
- 後付けランプキットやバックレストなどのオプションについては弊社ホームページまたは総合カタログをご覧ください。

● 塗装に関する注意事項

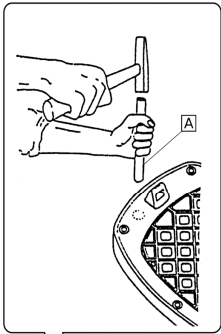
- \* 基本的に、塗装やメッキ等の表面処理に関するクレームは受け付けておりません。予めご了承下さい。

● 内装袋の廃棄に関する注意事項

- \* 内装の袋は焼却してもダイオキシンの発生がないポリエチレンを使用していますが、廃棄する際は必ず地域の条例に従って処分するようお願い致します。

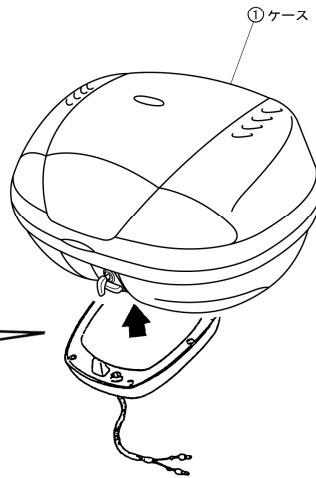
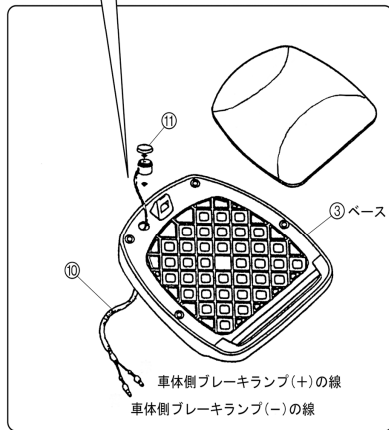
**<商品内容>**

No.	パーツ名	サイズ (mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	ケース	410 × 560 × 325	1	⑧	ラバー		4
②	キー		2				
③	ベース		1				
④	プレート (スクエアワッシャー)		4				
⑤	波形プレート	φ6 穴付き	4				
⑥	ボルト	M6 × 30	4				
⑦	ナット	M6	4				



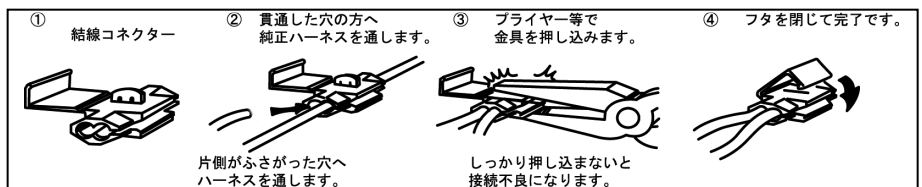
**<参考 ストップランプ (オプション) を装着する場合>**

ハイマウントストップランプを標準装備している車両はケースのハイマウントストップランプ(オプションを使用しないでください。使用した場合、保安基準に抵触します。



※ランプキットの取説を参照してください。

結線コネクタを使う場合は配線の被覆は剥かずにご使用ください。



**要点**

- ③ベースにある穴開け部分は、Aポンチ等をあわせてハンマーで叩きます。バリはヤスリで取除いて下さい。(※モノロックベース MM(モノロック用)に接点を取付ける場合も同様です。(ベースの裏にモールド痕○印があります。))
- (+)の線は、間違いなく車体側のブレーキランプと結線して下さい。誤ってテールランプの線には結線しないで下さい。
- ケース装着の有無にかかわらず走行時には⑩接点部カバーを必ず外して下さい。

**注意** ベースの接点部の打ち抜きは必ずオモテ側から行ってください。ウラ側から打ち抜くと表面が剥離し、接点の確実な固定に支障をきたし、故障の原因になります。

## <取付け手順>

1. ③ベースの、A部（4ヶ所）に⑧ラバーを取付けます。（製造ロットにより組み込まれている場合があります。）

### 要点

- ③ベースに①ケースが取付け出来なくなる場合がありますので⑨ラバーが③ベースにしっかりと組付けて下さい。⑨ラバーは③ベースの下側よりラジオペンチ等で⑨ラバーを引っ張り、取付けて下さい。その際、⑨を引きちぎらないように注意して下さい。

2. ③ベースのカバーをマイナスドライバー等を利用し取外します。この際カバーのツメを折らない様に注意して下さい。

3. オートバイのキャリアの上に、④プレート（スクエアワッシャ）、⑤波形プレート、⑥ボルト、⑦ナット、を使用して③ベースを取付けます。

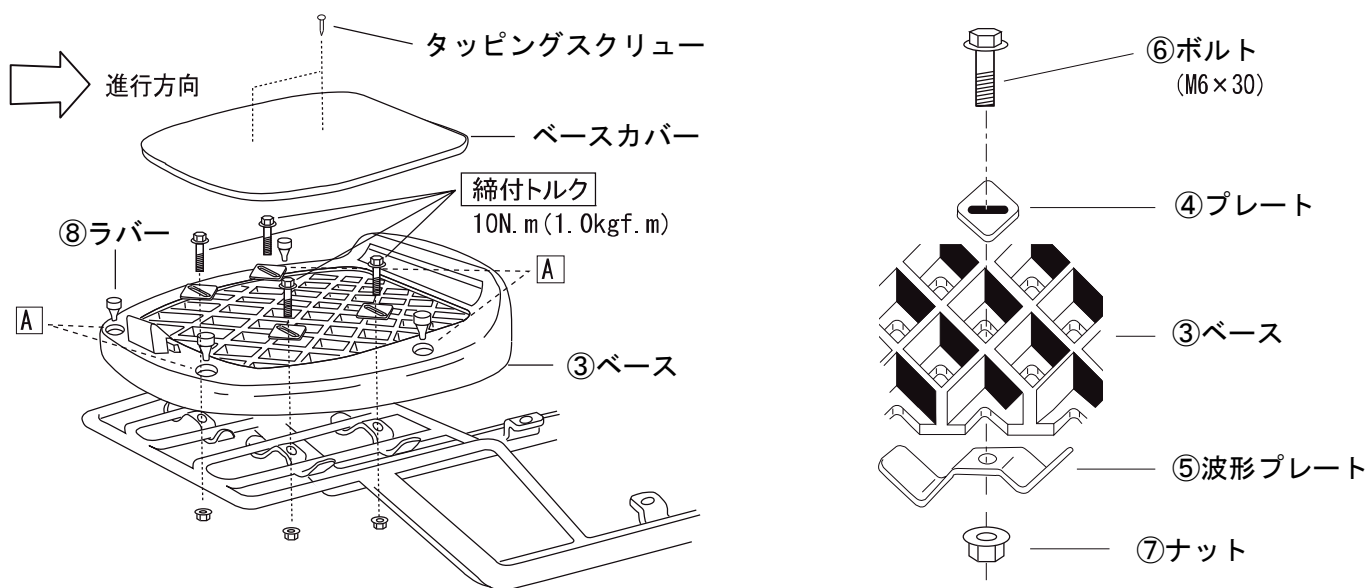
### 要点

- ③ベースは大きな力が掛かります。③ベースのがたつきがないように確実に取付けて下さい。車体側のキャリアの形状によっては、③ベースが変形する場合があります。そのまま取付けると、①ケースが取付かない場合があります。市販のワッシャやスペーサーを利用し、ベースが変形しない様に組付けて下さい。

4. ③ベースにカバーを取付けます。  
カバーが取付けにくい場合は、タオル等をかぶせ、プラスチックハンマー等で軽く叩きながらはめ込みます。その際、カバーのツメを折らない様に注意して下さい。

5. ベース接点スイッチのキャップを取外します。（ランプ付きタイプのみ。外しにくい場合はドライバー等でこじるようにして下さい。）ケースを取り付けない場合も走行前には接点キャップをはずしてください。

①ケースが、③ベースに確実に取付け出来る事を確認し、作業は完了です。

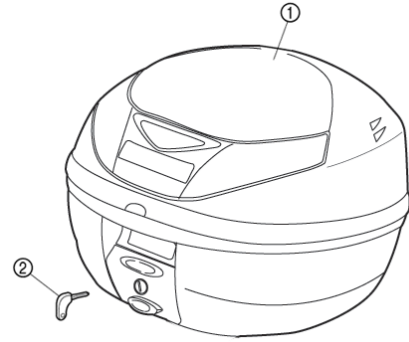


**要点** キーがケースオープン位置の場合のみボタン、フラップ操作が可能です。

## <使用方法>

### 1. [①ケースを開く]

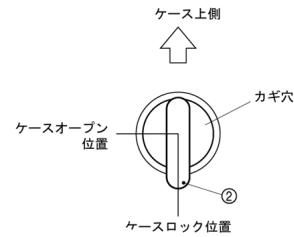
- 1-1. ①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。
- 1-2. ②キーを右（時計方向）に回し、ケースオープン位置に合わせます。
- 1-3. 上蓋アンロックボタン（上）を押すとケースフラップがリリースされます。
- 1-4. ①ケースのフタを持ち上げます。



※上蓋アンロックボタンのみを押すこと。（PRESS部は押さない）

### 2. [①ケースを閉じる]

- 2-1. ①ケースのフタをしっかりと閉めます。
- 2-2. キーをケースオープン位置に回し、ケースフラップ（PRESS）を強く押し下げます。**この際にケースフラップのツメが①ケースのフタの谷部に確実に掛かっている事**が重要です。



## ⚠注意

•新品状態のケースフラップはばねが硬いため、上蓋をしっかりと押さえながら力強く**確実に押し下げて**ください。下記トラブルシューティングご参照ください。

- 2-3. ②キーを左（反時計方向）に回し、ケースロック位置に合わせます。アンロックボタンがロックされます。
- 2-4. ②キーを抜きます。

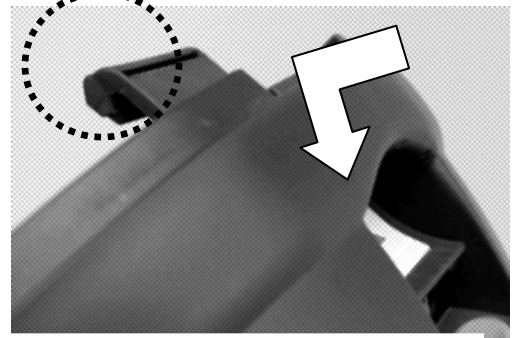
### 3. [①ケースを取付ける]

- 3-1. 車体に取付けた③ベースB部に①ケースを引っ掛けます。
- 3-2. ①ケースを上から押さえます。この際③ベースC部と①ケースのロック部分の位置が合っている事を確認します。

## ⚠注意

•ケースがはまりにくいときは、ケースを上から強く押し付けると同時にベースを下から強く押し上げて**確実に装着**してください。

- 3-3. ①ケースを引っ張って③ベースから外れない事を確認します。

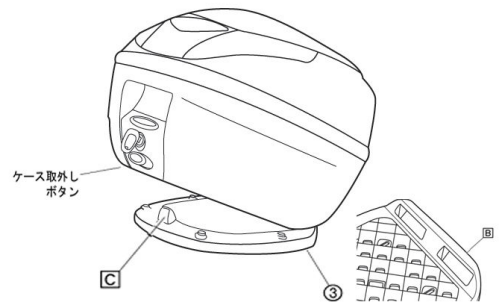


## ⚠警告

•①ケースのロック部分が、確実に③ベースにロックされているか、**ケースを引っ張って**確認して下さい。確実にロックされていませんと、走行中に①ケースが落下し、大変危険です。**走行前には必ず確認してください。**

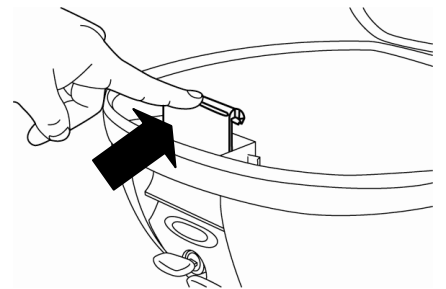
### 4. [①ケースの取外し]

- 4-1. ①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。
- 4-2. ②キーを右（時計方向）に回します。ケース取外しボタン（下）のロックが解除されます。
- 4-3. ケース取外しボタンを押してから、①ケースを持ち上げます。



## トラブルシューティング 故障ではありません！

上蓋アンロックボタンが戻らなくなったり、ボタンを押しても手応えがなくケースフラップのロックが解除できない場合や、キーが回らないときは、**フラップが完全に閉じていません**ので、一旦ケースの蓋を開けて（少し抵抗がありますが）からフラップを押してロック機構を解除してから、上蓋をしっかりと閉めて、もういちど操作を行ってください。



JASDAQ上場企業 証券コード7228

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

\*この用紙は再生紙を使用しています

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、0120-60-4955まで。

営業時間 平日 午前9:00~午後6:00

URL 総合 <http://www.daytona.co.jp>

G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>

# GIVI モノロックケース 補足説明書



**警告**

走行中のケース脱落防止の為に下記の確認を走行前に必ず行ってください。  
ケースがベースに完全に固定されていない(仮固定)状態で走行すると走行中にケースが外れ大変危険です。

## 完全に固定されているか(本固定)の確認

装着後、ケース本体を上方向に持ち上げ、ベースから外れないかどうか確認してください。しっかり固定されていればケースは外れません。

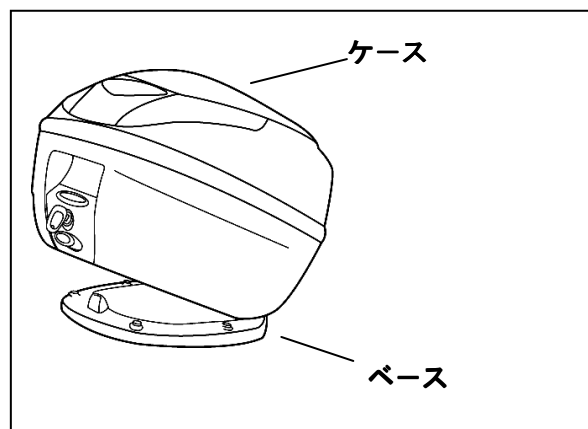
途中で引っかかって仮固定されている状態(注1)で持ち上げると外れてしまいます。仮固定の状態でもキーロックは出来てしまいますので、ご注意ください。

途中で引っかかって仮固定されている可能性がありますのでもう一度しっかり上から押して完全に固定してください。

### 注1 ベースとケースの固定の特徴。

ケースを押し込む力の加減により、一度で本固定出来ない場合があります。ケースをベースに押し込む際、途中で固定された様な抵抗を感じられます(仮固定状態)が、そこからさらに下にケースを押し込んで確実にベースに本固定させてください。

(“カチッ” という音でケースの固定を判断しないでください。仮固定状態でも”カチッ”という音が発生します。この状態で走行しますと、ケースが外れてしまい大変危険です。)



### 【ベースをバイクキャリアに装着する際の注意】

ベースを車体のキャリア等に装着させる際、ベースに歪みが出ないように均等な力で装着してください。ベースが歪んでいる状態ではケースがうまく装着できません。

必ず、商品本体に付属している取扱説明書とこの補足説明書を一緒に保管してください。

## GIVI トップケースの使用方法

対象 GIVI ケースモデル V46 V35(サイドケース) E470 E450 E370 E350 E260 E230 E340

### ケースの開け方

① カギをカギ穴に差し込みます。



② カギを右(3時方向)に回します。



③ キーシリンダー上部の赤い台形のボタンの真ん中付近を強く押します。

**重要** この時カギは右側に回してある事。



“PRESS” と書かれたケースフラップという部品が浮いてきます。

この状態でケースが開けられます。

**要点** カギの回し方が不十分な場合、赤い台形のボタンを押してもケースフラップが浮いてきません。  
また、部品どうしが引っ掛かり開かないなどのトラブルとなります。しっかりカギを操作してください。

## ケースの締め方、ボタンのロックの方法

- ① カギが差し込まれて、カギが右側(3時方向)に回されているか確認してください。



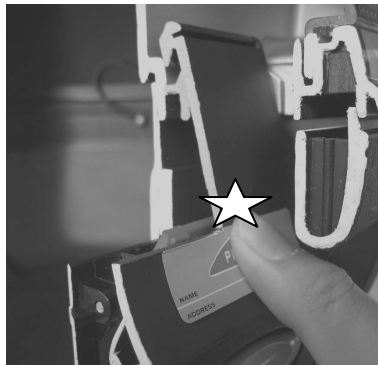
カギが右側に回されている事を確認する。

- ② カギが右側に回された状態で“PRESS”と書かれたシールの三角形の頂点付近(★マーク)付近を押してフタをロックします。他の場所を押すと正しくロックが出来ない場合があります。

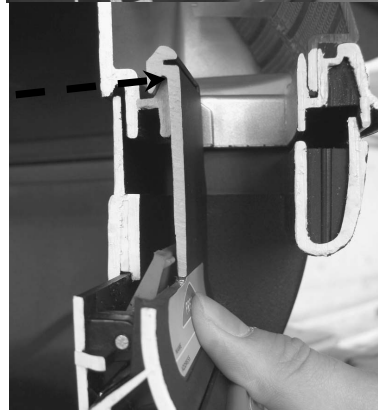
必ずカギが右(3時方向)に倒れている事を確認してください。



三角形の頂点付近を押す。



ツメが上フタの溝に引っ掛かりフタを固定します。  
この溝にツメを引っ掛ける事がポイントです。



- ③ フタのロックができましたら、カギを左側(12時方向)に回してボタンをロックさせます。この状態で初めてカギを抜く事ができ、すべてのボタンがロックできます。

